



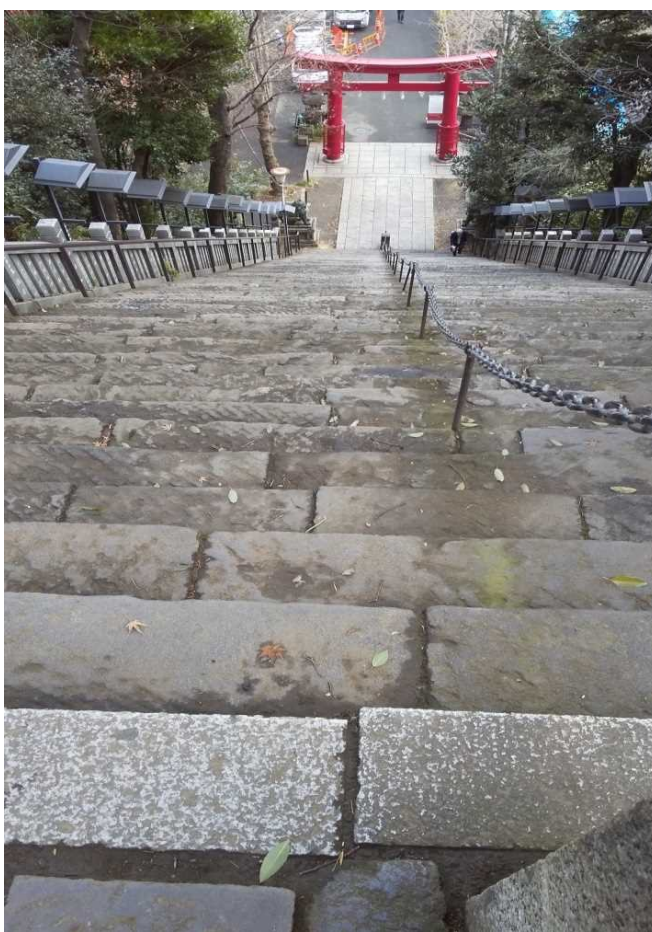
日産合成工業株式会社 メールマガジン

2021・2 第169号



今年の節分は1987年以来、124年ぶりの2月2日になりました。地球の自転が24時間ジャストでないために起こる暦の調整のためだそうで、これからは2日になることが多くなるとかです。関東では観測史上最も早く4日に春一番がやってきて、早咲きの梅やマンサクも開花し、春の息吹が感じられる時候となりました。

さて、路線バスの旅なる番組がありますが、通勤で利用する目黒郵便局前に、時々やってくる東急バス98系統の東京駅行きは、まさに「はとバス」の名所巡りの様相で、220円でたっぷり江戸情緒を味わうことができそうです。バスは権之助坂—白金台—清正公—魚籃坂下—慶応大学—東京タワー—御成門—愛宕山—霞が関—日比谷—馬先門—東京駅となります。地名に歴史ありのごとく、その歴史を知るとバスの旅は一層楽しくなりそうです。桜の名所で名高い目黒川の橋のたもとにあるのが権之助坂です。この坂は江戸時代中期に目黒村の名主をしていた菅沼権之助が切り開きました。権之助は年貢の取り立ての減免を訴えて捕らえられ、死出の際に、まだ我が家が見えると口走り、その悠揚たる態度に感動した村人が命名したとも言い伝えられています。



愛宕山は標高26m、自然の山としては23区内最高峰に位置します。愛宕山が一躍名を馳せたのが、「出世の石段」の逸話です。三代将軍家光の一言で、勇敢にも86段ある男坂の石段を馬で駆け上がり、山上の梅を手折って献上したのが、丸亀藩の家臣・曲垣平九郎です。日本一の馬術の名人と褒めたたえられたことから、愛宕山は武士達の名所になったとか。聞くとところによれば、馬で駆け上りに成功したのはこれまでに3名だそうですが、登りはわずか2分しか要しなかったのが、下りは45分もかかったとか。行きはよいよい、帰りは怖いですね。傾斜角37度は岩壁のように立ちはだかり、身もすくむ思いです。

各地にある愛宕山神社の総元締めは、京都の愛宕山にあります。その愛宕山への春のピクニックの話が、古典落語にあります。古今亭志ん朝の名調子で、お大尽や芸子さん、幫間達の道中を賑やかに話は進みますが、かわらけ投げの茶屋での話がクライマックスです。お大尽がかわらけの次に小判 30 枚を谷底に投げますと、幫間はその小判欲しさに番傘をパラシュートのように使って谷底に降りていきます。しかし、どうやってもどるか思案しながらも、やっとの思いで登りつきましたが、あれれ、お目当ての小判 30 枚はどうしたのでしょうか？

さて、ニッサンメールマガジン第169号をお届けします。

潜在性低カルシウム血症の予防法

わが国における低カルシウム血症（乳熱）の発生頻度は、全疾病中の4%位ですが、潜在性低カルシウム血症は、かなり高いのではとの報告です。アイオワ州立大学のジェシーは潜在性低カルシウム血症について、分娩後の最初の24時間に、ほぼ半数の牛で発生し、血中カルシウム濃度が8 mg/dlを下回ると起こると報告しています。これは代謝性アルカローシスに起因すると考えられています。アルカローシスは副甲状腺ホルモンであるカルシウム調節ホルモンの骨と腎臓への作用をブロックします。これは泌乳の開始時期にカルシウムが初乳と牛乳中に移行することによって低下した血中カルシウムの補充を損なうことを意味しています。

潜在性低カルシウム血症は、無気力、起立不能などの症状は示しませんが、飼料摂取量や乳生産の低下を示し、収益性に影響します。そのためには血中カルシウム濃度の迅速な測定が必要で、1回採血の場合は36時間目に、2回採血の場合は12時間目と36時間目にサンプル採取します。血中濃度が8 mg/dl未満の牛は子宮炎や第4胃変異などの発症頻度が高くなります。

この疾病予防法としては、

- 1.クローズアップ期に飼料中のカリウム濃度を低下させます。
- 2.副甲状腺ホルモンに対する組織の感受性を回復させるために、飼料に陰イオンの添加が求められます。
分娩1週間前の尿pHが6.0～6.6の間であれば正常、5.5未満では過度の酸性化、7.25を超えると血中カルシウムの改善効果は見こめません。
- 3.分娩10日前からはカルシウムを補給しない。また、飼料中にはマグネシウムを適切に添加します。
- 4.分娩後ただちにカルシウム補給をします。
以上潜在性低カルシウム血症予防の処方箋ですが、各農場の実情に合わせて適宜修正をします。

離乳後の落ち込みを回避するヒント

離乳前の子牛には多くの注意力和手間を要していますが、離乳への移行がうまくいかなければ、健康と生産性も低下します。乳牛の体格の50%と体重増加の25%は、乳用子牛の生後6か月で決まります。つまり、離乳後の数週間が重要であり、離乳後の落ち込みを回避するためのヒントがいくつかあります。

- 1.変更は段階的に。離乳のストレスを回避するためには、段階的に変更を加えます。例としては代用乳は数日間かけて人工乳に切り替えます。子牛が新しいペンに入るときは、離乳前の配合飼料を維持することなどがあげられます。
- 2.給与飼料の移行をスムーズにする。代用乳からスターター飼料への突然の移行は、消化管微生物叢の変化を制御できません。
- 3.小グループで飼育する。6頭以下の小グループで管理します。ストレスの多い競争なしに、グループ内での相互作用、飼料へのアクセス方法を学習できます。
- 4.施設をユーザーフレンドリーにします。快適な牛舎環境を整備します。
- 5.必要に応じた質・量の給餌。幼弱な育成牛では18～20%未満の粗タンパク質飼料と組み合わせます。12～14%の粗タンパク質では骨格の成長には不十分です。
- 6.コクシジウム症を見逃さない。飼料効率の上昇と体重増加をもたらします。
- 7.ルーメンの正常な発達を促す。ルーメンの量は生後8～24周で倍増します。生後3日目の早い時期にスターターと自由選択の水を与えると、ルーメンの絨毛の発達が促進されます。しかし、ほとんどが粗飼料（乾草、サイレージなど）に切り替えますと、離乳直後にルーメンの発達に急ブレーキがかかります。24周齢までの間

はバランスのとれた穀物飼料が望ましいです。それまでにルーメンは完全に発達し、育成牛はサイレージ飼料に移行する準備が整います。

これらの対策を講じることで、離乳前にかけた労力が、離乳後にも損なわれることなく、離乳後も継続されます。離乳後の失われたベースを元に戻すボタンはないとかがです。

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願いします。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QR コード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるように QR コードを添付しました。

